

学習指導案 (番組を活用した授業例)

1 題材名「ひもを結ぼう」




2 本時のねらい

- ・かた結びのやり方を知り、自分で結んでみる体験をする
- ・「結ぶ」目的や場面に応じて「結び方」を考えることを意識づける

3 番組の活用について

- ・かた結びの手順を知る

4 本時の流れ

| 主な学習活動と内容 (45分) | | 指導上の留意点 |
|-----------------|--|---|
| 導入 10 | <p>① 本時の学習内容を確認</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">ひもを結ぼう</p> <p>② 身近な「結んである」状況の写真を複数見せ、「どうして結んでおくのかな」と問いかけることで、「ひもを結ぶ」ことの意味や大切さを意識づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ばらばらにならないようにするため ・とれないようにするため ・うごかないようにするため <p>③ ストレッチマンゴールドの視聴 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・番組を途中まで視聴(感覚遊びの前まで) ・ストレッチ体操が始まったら、一緒に取り組む | <ul style="list-style-type: none"> ・なわとび、くつひも、お弁当のつつみのはし、はちまき、ごみ袋の口など、日常的によく目にする「結んである」状況の写真を用意して提示することで、学習内容の見通しを持てるようにする ・「どうして」の問いに対してイメージが持ちにくい子がいたときは、「結ばなかったらどうなるかな」と問いかけたり、実物を用意して「結んだ時」「結ばなかった時」の違いを体感したりすることで気づきにつなげる ・体操と一緒に取り組み、体をほぐす |
| 展開 30 | <p>④ 「結ぶ」練習に取り組む</p> <p>○生活スキルクリップを再度視聴 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・かた結びのポイントを確認 ・「ばってん・むこうからくるり・ぎゅっ」と言語化しながら体験する <p>○いっぱい結ぼうに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かた結びを繰り返して「結び目タワー」をつくってみよう <p>○いろいろ結ぼうに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太さや幅の違うひもを結んで名人になろう ・結ぶ手順は変わらない <p>○はちまきを結ぼうに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の頭のはちまきを結んであげよう ・痛くないように、走っている時ほどけないように <p>○感覚遊び以降を視聴 </p> <p>○「結んだらほどくよりレー」に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここまでの活動で結んだたくさんのひもをテーブルに置き、チームに分かれて「どれでもいいから結び目一つほどいたら次の人にタッチ」というルールで時間内にいくつの結び目をほどくことができるかに挑戦する | <ul style="list-style-type: none"> ・「かた結びのコツを見つけよう」と声がけしてから視聴することで、ポイントを意識しやすくする ・視聴後、見つけたコツを出し合い、スクリーンショットを撮った画面に、書き込んでいくことで、ポイントを共有する ・動きを言語化することで再現しやすくする ・「はじめに」「次に」「最後に」といった言葉を添えてスクリーンショットを順番に並べ替えていくことで、手順の流れを意識づける ・番組に合わせて真ん中から色が違うひもを「いっぱい結ぼう」では使う ・「いろいろ結ぼう」では、1色のものも用意し、習得状況に応じて選択できるようにする ・「ほどく」ができるから「結ぶ」は便利だということについても知らせる ・なかなかほどけないときは「しっかり結んだね。ほどけないようにしたいときにはぎゅっが大事だね」、すぐにほどけたときには「ほどきやすく結ぶこともできるね」等、目的に応じた力加減についても声がけしていく |
| まとめ 5 | <p>⑤ 本時の活動を振り返る</p> <p>○今日の体験をもとに、最初に見た「結んである」写真について「結ぶ時のポイント」を出し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋はほどけないようにぎゅっと結ぶ ・はちまきはあんまり強く結ぶと痛いしほどけなくて困る ・ちょう結びならすぐほどける <p>○基本の形を再確認する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初には気づけなかった「結ぶ」目的に応じた「結び方」について出し合うことで意識づけていく ・目的を考えた際に「ほどきやすい結び方」として「ちょう結び」があることを知らせ、次の学習への意欲付けにする ・言語化した動きを確認することで、日常の「ひもを結ぶ」場面への汎化を図る ・結び方を忘れてしまった時は、生活クリップを再生すると確認できることを知らせておくことで、安心して取り組めるようにする |



5 評価

- ・番組で紹介されたポイントを参考にしながら「結ぶ」活動に取り組むことができたか(知識・理解)

